

ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2024年5月

販促・魅力発信

- 漁業者・中小企業者等を対象として、地域の漁業や産業の活性化に向けた取組に対する支援策を知っていただくために、**漁業者・中小企業者等を対象に水産庁・宮城/福島復興局・東北農政局・東北経済産業局・東北運輸局・中小機構・JETROとの連携により、漁業者・中小企業者支援施策等合同説明会を実施。**

説明会の様子



**漁業者・中小企業者支援施策等
合同説明会 4/23 in 石巻**

令和6年4月23日(火) 13:30~16:00

【会場】石巻市水産物地方卸売市場（石巻魚市場）
（石巻市本町二丁目14）
【定員】40名（先着順）
【オンライン】Microsoft Teams形式（人数制限なし）

対象 漁業者、中小企業者、個人事業主、認定支援機関、行政機関等

参加費 無料

申込締切日 令和6年4月19日(金)12時00分まで

石巻会場



**漁業者・中小企業者支援施策等
合同説明会 4/25 in 青森**

令和6年4月25日(木) 13:30~15:40

【会場】青森市役所 柳川庁舎
（青森市柳川一丁目1）
【定員】40名（先着順）
【オンライン】Microsoft Teams形式（人数制限なし）

対象 漁業者、中小企業者、個人事業主、認定支援機関、行政機関等

参加費 無料

申込締切日 令和6年4月19日(金)12時00分まで

青森会場



**漁業者・中小企業者支援施策等
合同説明会 5/16 in いわき**

令和6年5月16日(木) 13:30~16:00

【会場】いわき産業創造館 会議室1
（いわき市平賀1-1-1）
【定員】40名（先着順）
【オンライン】Microsoft Teams形式（人数制限なし）

対象 漁業者、中小企業者、個人事業主、認定支援機関、行政機関等

参加費 無料

申込締切日 令和6年5月13日(月)18時00分まで

いわき会場

日時：令和6年4月23日（火）
13:30~16:00
場所：石巻市水産物地方卸売市場
石巻売場
＜石巻魚市場＞
参加者数：48名
（うちオンライン29名）

日時：令和6年4月25日（木）
13:30~15:40
場所：青森市役所柳川庁舎
参加者数：29名
（うちオンライン19名）

日時：令和6年5月16日（木）
13:30~16:00
場所：いわき産業創造館
参加者数：37名
（うちオンライン23名）

- 5月18、19日の2日間、**栃木県市貝町の「道の駅サシバの里いちかい」にて、福島相双復興推進機構の主催で福島県の水産加工品の販売会である「ふくしま常磐大漁市」を出店。**
- 本イベントでは、**福島県漁連をはじめとした福島県の水産加工業者8社の商品30品を販売。**また、カネセン水産の梅酢タコ、マルリフーズのあおさ海苔を用いた「タコとあおさの梅酢和え」の試食を実施。
- 両日とも多くの方が来場。18日には**市貝町の入野町長にもご来場**いただいた。

ふくしま常磐大漁市 in 道の駅サシバの里いちかい



会場の様子



試食の様子



入野町長（右）

■ 来場者の声

「あおさの香りが良い。色でいいものだとわかる。」「福島を応援している。頑張ってもらいたい。」など、応援する声が多く寄せられた。

- 5月29日～6月2日の5日間、JR上野駅の中央改札口前で開催中の「福島産直市」に、福島相双復興推進機構の主催で、福島県の水産加工品の販売会である「ふくしま常磐大漁市」を出店中。
- 本イベントでは、常磐ものの水産加工品を首都圏を中心とした消費者に味わってもらい、販路拡大を目指す。福島県の水産加工業者9事業者、約30商品を販売予定。

ふくしま常磐大漁市 in 福島産直市（上野駅）

日 程：2024年5月29日（水）～6月2日（日）

場 所：JR上野駅中央改札外グランドコンコース

イベントURL：<https://fukushima-challenge.go.jp/event/jobantairyochi2024-6/>



JR上野駅中央改札外グランドコンコース（販売イメージ）

【出品事業者（主な販売商品）】

- ・福島県漁業協同組合連合会（ひらめフィレ、めひかり唐揚げ）
- ・佐藤水産（海苔の佃煮、ボイルやなぎだこ*）*5/30、6/1の限定販売
- ・マルリフーズ（松川浦かけるあおさ、松川浦かけるあおさ ハラペーニヨ、あおさの佃煮）
- ・岩下商店（松川浦産アオサ入りお手軽ちぎり揚げ）
- ・カネセン水産（味付けタコ、タコ飯の素）
- ・かねまん本舗（シーフードケーキ（創作かまぼこ）、「ポテ&チーズ」）
- ・貴千（ご褒美BAR（新感覚かまぼこ））
- ・三陸水産（紅鮭スモークサーモンスライス、天日塩で漬けた太刀魚の天日干し）
- ・おのづか食品（うに味噌）

※予告なく事業者または販売商品を変更する場合がございます。

【商品イメージ】



▲めひかり唐揚げ



▲(商品左) かけるあおさ
(商品右) かけるあおさ ハラペーニヨ



▲ご褒美BAR

- 5月18・19日に、復興が進む福島の今の国内外への発信、サイクルスポーツを通じた広域的な交流人口の拡大と振興を目的とした「福島復興サイクルロードレースシリーズ」の第2戦として、双葉町・大熊町を舞台とした「ツールドふたば」が開催された。
- **福島相双復興推進機構が事業者の引き合わせ等の協力を行い、本イベントにて昨年に引き続き、参加者や来場者向けに福島県産の水産物（あおさ、しらす、陸上養殖エビ）や農産物（フルーツマト、ニンニク）を用いたピザを提供した。**

ツールドふたば



▲熟練ピザ職人による福島の恵み特製ピザ

具材とした福島県産の農水産物：あおさ（マルリフーズ（相馬市））、しらす（柴栄水産（浪江町））
陸上養殖エビ（HANERU葛尾（葛尾村））、トマト（ワンダーファーム（いわき市））
にんにく（ランドビルドファーム（浪江町））

- 2024年5月2～5日、北海道産ホタテのメニュー提案会をバンコクで実施。料理の鉄人として著名なタイ人シェフを起用し、**新たな消費需要の創出に向け、日本料理をはじめ、タイ料理やイタリア料理においても日本産水産物をメイン食材にした新しいメニューを提案**。また、ペアリングも考慮した日本産酒類も提供し、総合的な食体験の機会を提供した。
- 輸入事業者や飲食小売店関係者、メディアなど100名超が参加。日本からも坂本農林水産大臣が参加し、現地事業者との交流を深めた。坂本大臣はイベント終了後、「**日本産ホタテは日本料理だけでなく多国籍の料理に合う**」「**タイの地方や周辺国へ販売網が広がることに期待している**」とコメントした。

バンコクにおける北海道産ホタテのメニュー提案会

■ 北海道産ホタテのメニュー提案会 概要

- ・ 日時：2024年5月4日（土）14:30～16:20
- ・ 会場：オークラ プレステージバンコク
- ・ 協力：農林水産省および在タイ日本大使館
- ・ イベント名：JAPAN PREMIUM HOTATE ～from HOKKAIDO Ocean to your table～
- ・ 使用した日本産水産物：ホタテ(北海道)、真鯛(宮崎)、ハマチ(鹿児島)



提案メニュー(タイ料理)



提案メニュー(イタリア料理)



調理デモの様子



会場の様子

理解釀成

- 廃炉・汚染水・処理水対策や東京電力福島第一原子力発電所の現状をまとめたパンフレット（廃炉の大切な話）の英語版を作成。経済産業省のWEBサイトでも公開。

廃炉の大切な話（英語版）

- 廃炉・汚染水・処理水対策や東京電力福島第一原子力発電所の現状に関する疑問等にお答えする形で内容を構成



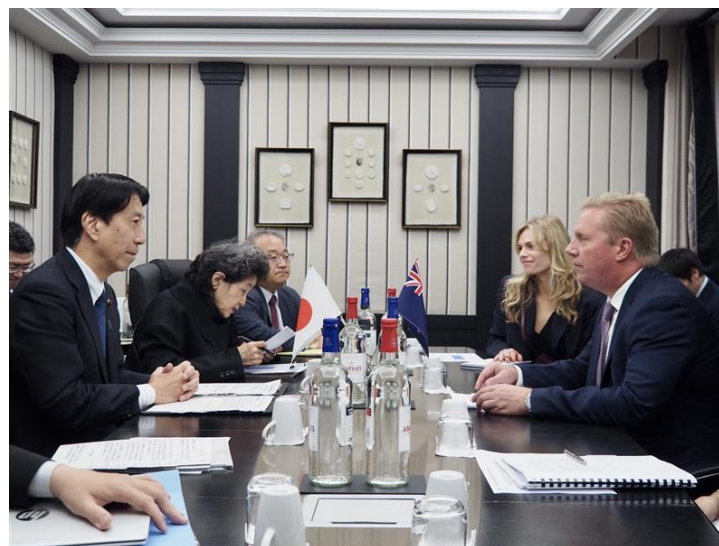
PDFはこちら



- 2024年5月3日、OECD閣僚理事会等への出席のためフランス共和国（パリ）を出張中の齋藤経済産業大臣は、マクレイ貿易大臣（ニュージーランド）とバイ会談を実施。
- 齋藤大臣から、ALPS処理水の海洋放出について、ニュージーランドが日本の立場に支持を表明していることに謝意を示すとともに、引き続き高い透明性をもって情報提供をしていく旨言及した。



▲ 齋藤大臣とマクレイ ニュージーランド貿易大臣



▲ 齋藤大臣とマクレイ大臣とのバイ会談の様子

- 2024年5月17日、APEC貿易担当大臣会合及びAPEC貿易・女性担当大臣合同会合への出席のためペルー共和国へ出張中の**石井経済産業大臣政務官は、アルジャーノン・ヤウ香港商務経済発展局長官と会談を実施。**
- **石井政務官からは、改めてALPS処理水の海洋放出の安全性などについて説明し、日本産食品輸入規制の即時撤廃を求めた。**日・香港経済関係の強化に向けて、今後も様々な機会を活用して、緊密に意思疎通を重ねていくことで一致。

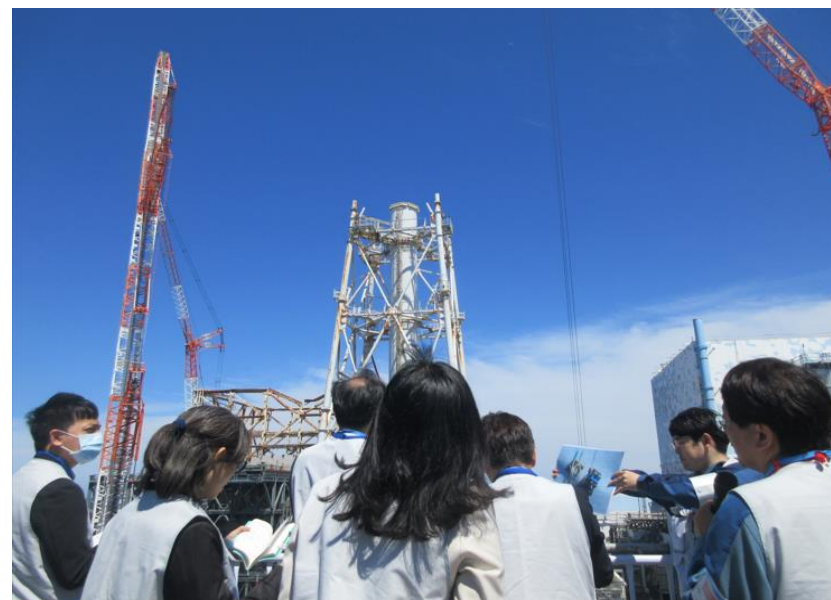


▲石井政務官と
アルジャーノン・ヤウ香港商務経済発展局長官



▲石井政務官と
アルジャーノン・ヤウ長官とのバイ会談の様子

- 2024年5月14日、**訪日中の台湾核能安全委員会の専門家団が福島第一原発を視察。**
- 台湾専門家団は、ALPS処理の設備や廃炉作業を現地視察したほか、東京電力と、ALPS処理水の放出状況・計画やモニタリング状況の技術面に関する意見交換を行い、**ALPS処理水の海洋放出の最新状況や廃炉の取組についての理解を深めた。**
- 台湾核能安全委員会は5月15日に発出したプレスリリースにおいて、今回の現地視察は、福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出にかかる情報やIAEAの最近のレビューの状況を把握し、台湾が関連する対応作業を実施する上で有益であったと述べた。

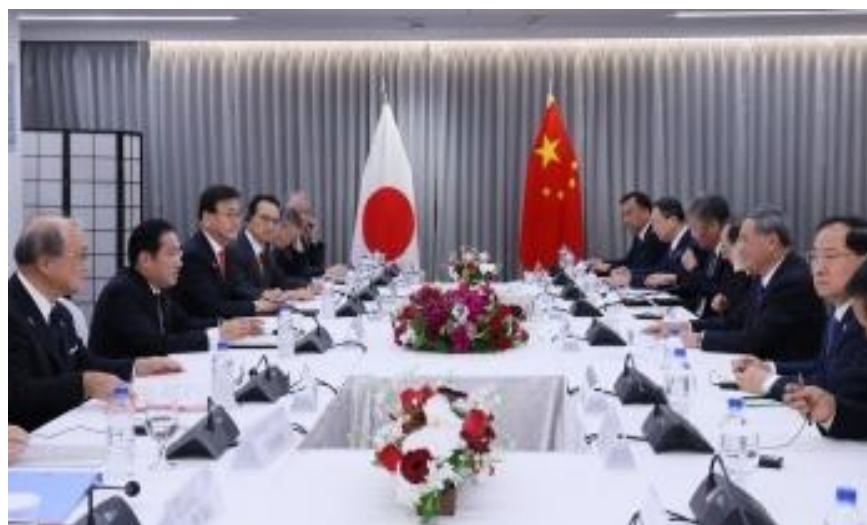


▲福島第一原発を視察した台湾核能安全委員会

- 2024年5月26日、日中韓サミットに出席するため韓国・ソウルを訪問中の**岸田総理は、李強（り・きょう）中国国務院総理と首脳会談**を行った。
- ALPS処理水の海洋放出について、両首脳は、昨年11月の日中首脳会談以降、専門家を含む両国間の事務レベルの意思疎通が進展していることを評価。
- **岸田総理から、IAEAの下で関心国の参画を得て行われているモニタリングが中国を含む関心国の理解を促進することを期待している旨述べた。両首脳は、問題の解決に向けて、これまでの意思疎通の進展を踏まえ、事務レベルで協議のプロセスを加速していくことで一致。**
- また、**岸田総理から、中国側による日本産食品の輸入規制の即時撤廃を改めて求めた。**



▲岸田総理と李強中国国務院総理



▲日中首脳会談の様子

安全確保

東京電力

○海水中トリチウムを測定

- 放水口周辺 4 地点毎日、その他 6 地点で週 2 回（放出期間中）、放水口周辺 4 地点週 1 回、その他 6 地点で月 1 回（放出停止期間中）迅速分析を実施。

水産庁

○水産物は年約380検体でトリチウムを測定

- ①放水口の北北東へ約 4 km、②放水口の南南東へ約 5 kmの **2 地点で、週 4 回迅速分析を実施**（放出のない期間は週 1 回）

環境省

○海水中トリチウムを測定

- 放出期間中、放水口近傍 3 地点で期間中 2 回、その他沿岸20地点で期間中 1 回、迅速分析を実施。

（参考）原子力規制庁

○海水中トリチウムを精密分析にて測定。

- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。



計画どおりに安全に放出できていることを確認

- 一昨年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、岩手日報、河北新報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年5月も2回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

新聞への広告掲載内容（左上：モニタリング状況のお知らせ、右下：第36回）

福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ（2024年5月）

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視（モニタリング）を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標（放出停止判断レベル：700ベクレル/ℓ^{※1}）を大きく下回る結果となっています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。

3km圏内（港湾内を除く）

20km圏内

エリア	海水の測定結果【単位：ベクレル/ℓ】 （2024年4月1日～4月未定に得られた測定結果の最大値）
トリチウム 【活体測定 ^{※2} 】	3km圏内 検出せず（＜0.9） 20km圏内 検出せず（＜0.9）
セシウム134 ^{※3}	3km圏内 検出せず（＜0.93） 20km圏内 検出せず（＜0.0014）
セシウム137 ^{※3}	3km圏内 検出せず（＜0.88） 20km圏内 0.061

【参考】トリチウム濃度の比較

海域モニタリングの結果

当社が測定した海水と海面下の放射性物質濃度は、**有意な変動は確認されていません。**
詳細は当社ホームページをご覧ください。
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water/treatment/monitoring/>

包括的モニタリング観測システム（ORBS）

当社以外の各種観測（環境省、水産庁、原子力規制委員会、福島県）が測定した海水および水産物の放射性物質濃度も**有意な変動は確認されていません。**
詳細は各機関の分析結果を一元的に確認できるORBSをご覧ください。
<https://www.monitororbs.jp/>

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー（福島県双葉郡大熊町大字大浜町）

福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.36

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・廃炉未対策」の取組みについてお知らせします。「復興と廃炉の両立」に向けて、廃炉を安全かつ専断に進めてまいります。

2024年3月、日本海溝津波*対策防潮堤（総延長：約1km、高さ：13.5～16m）の設置工事が完了しました。

※日本海溝沿いの地震に伴う津波



4号堤高側（2024年3月7日撮影）



1-4号堤低側（2024年3月7日撮影）



Q.日本海溝津波対策防潮堤の役割は？

▶ 発生が想定されている「日本海溝津波（高さ 10.3～14.9m）」の対策として設置しました。
防潮堤の設置により、津波による「浸水を抑制」、「建屋への流入に伴う滞留水の増加を防止」するとともに「廃炉重要設備の被害を軽減」することで、周辺環境や廃炉作業への影響を低減します。



海溝津波の浸襲状況についてはこちらをご覧ください
▶【日本海溝津波対策防潮堤設置工事が完了について】
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/newsrelease/reference/pdf/2024/1h11_20240318_1.pdf



ALPS処理水の海洋放出の状況についてはこちらをご覧ください
▶【放出実績】
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water/treatment/performance_of_discharges/



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・廃炉未対策
▶【皆さまの意見をお聞かせください】
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>



東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字大浜町2-2